

事業概要 (2014年4月1日現在)

所在地	〒181-8577 東京都三鷹市大沢3-9-6
土地面積	15,817m ²
建物面積	67,233m ²
従業員数	1,235人
主な生産品目	自動車用エンジン、トランスミッション の研究開発、実験

東京事業所



トップメッセージ



執行役員
東京事業所長
前田 聡

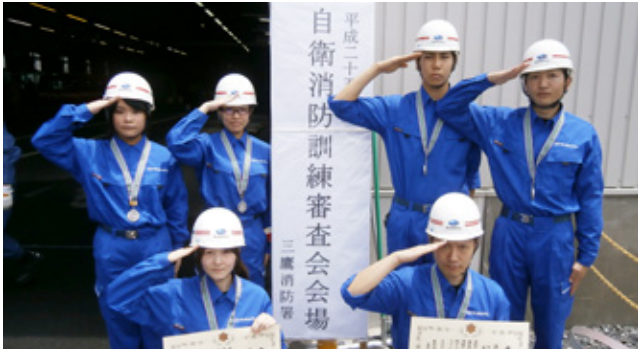
東京事業所は、スバル車のパワーユニット(エンジン・トランスミッション)開発を担うサイトとして、「安心と楽しさ」の追求と環境にやさしいクルマづくりを目指し、走行性能と環境安全性能を高い次元で両立させるためにたゆまぬ努力を続けています。

これからも、クルマの環境安全性能を左右する重要なポジションにあることを自覚するとともに、周辺地域や社会との共生の重要性を再認識しながら、環境に配慮した開発や事業活動に心掛け、燃費や排気ガスの性能向上、クリーンエネルギー自動車の開発などを通し「クリーンなパワーユニット」を提供することでお客様の期待にお応えし社会に貢献していきます。

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

私たちは、住宅地に隣接する“都市型事業所”として、周辺地域の皆さまとのお付き合いを大切にしています。共に豊かな社会を創造するために、安全防災体制の整備や、地域行事・クリーン活動などに継続し取り組んでいます。



2013年6月28日 自衛消防訓練審査会へ参加

2013年の自衛消防訓練審査会は当事業所敷地内で開催されました。当社では毎年参加することで訓練経験者を養成し、万が一の災害発生に迅速な対応を目指しています。



2013年7月3日 警視庁三鷹パートナーシップ研修会を開催

昨年に引き続き、事業所内にて警視庁主催によるテロの未然防止や被害の最小化を目的とした研修会が開催されました。当社から安全衛生関係者が参加し、有事の際の事業所と警察や地域との連携の重要性について再認識しました。



2013年8月2日 納涼祭の開催

2013年は、昨年に引き続き国際基督教大学サンバサークルのパレードや当社創立60周年を記念に歴代スバル車やWRC優勝車輛の展示など特別イベントも実施し、約3千人の参加で地域の皆さまとの交流も図れました。



2013年10月12日 二輪車安全運転教室の開催

2013年も三鷹警察署ご協力のもと、二輪車安全運転教室を開催しました。社外からの参加も含め20人の受講生は白バイ隊員の指導を受け運転技術の向上に熱心に取組みました。



2014年1月12日 当社硬式野球部野球教室の開催

武蔵野市営軟式野球場で当社硬式野球部による野球教室を開催しました。今回も約200人の子どもたちが参加し熱心に練習し元気に指導を受けていました。



2013年2月27日・9月30日 所内献血の実施

東京事業所内にて定期的に行っている東京都赤十字血液センターによる献血を継続実施しました。今回も多くの方に、ご参加ご協力いただきました。

環境保全の取り組み

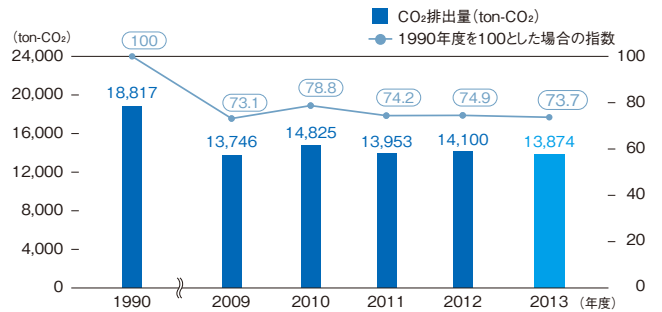
私たちは、自動車をはじめとする輸送機器メーカーとして、「地球環境問題への対応は経営における重要課題」と認識し、環境保全の取り組みを進めています。

地球温暖化防止への取り組み

2013年度のCO₂排出量は13,874ton-CO₂で、1990年度比73.7%になりました。

今後もさらに、CO₂排出量削減・省エネルギー活動に取り組み、地球温暖化防止に貢献していきます。

CO₂排出量推移

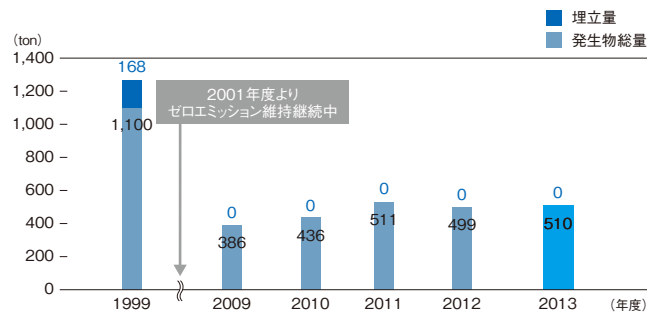


ゼロエミッションへの取り組み

2013年度の廃棄物排出量は511トンでした。埋立量は0トンで、2003年度以降ゼロエミッションを継続しています。

今後も、リサイクルの向上と廃棄物排出量の削減に向け努力していきます。

廃棄物発生総量と埋立処分の推移



新事務所本館の屋上に設置している太陽光発電

公害防止への取り組み

地域社会との共生や緑豊かな自然環境を維持していくため、排出ガスや排水の管理、環境リスク低減などに取り組み、環境事故や公害の発生を防止するための活動を推進しています。今後も、基準値超過・苦情を含めてゼロを目標に取り組んでいきます。

2013年度の環境関連測定結果

法令よりも20%厳しい自主基準値を設定し、取り組んでいます。

■ 水質測定結果

■ 三鷹市公共下水道、下水道条例

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5.7~8.7	5.9~8.4	8.4	7.6	8.1
BOD	300	240	200	20	131
SS	300	240	220	25	102
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	4未満	4未満	4未満
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂)	30	24	24	4未満	5.5
全りん	16	12.8	10	0	4.3
全窒素	120	96	68	3	33.6
溶解性マンガン	10	8	0.03	0.02	0.02
シアン	1	0.8	0.01未満	0.01未満	0.01未満

【記号】… pH:水素イオン濃度、BOD:生物化学的酸素要求量

SS:水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質

【単位】… 大腸菌=個/mℓ、その他はpH除きmg/ℓ、全りん・全窒素の規制値は日間平均値

■ PRTR対象化学物質の取扱量、排出量など

【単位:kg/年】

化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
エチルベンゼン	16,279	0.2			16,279		
エチレングリコール	1,820	0			1,820		
キシレン	68,895	1			68,894		
1,3,5-トリメチルベンゼン	12,974	0			12,974		
トルエン	214,515	8			214,507		
1,2,4-トリメチルベンゼン	44,986	0.19			44,986		
ベンゼン*1	6,840	1			6,839		
n-ヘキサン	24,791	5			24,786		
合計	391,101	16	0	0	391,085	0	0

*0.5トン/年以上の取扱物質を記載しています。

※1 ベンゼンは特定第1種化学物質です。

沿革

1941年 5月 中島飛行機 三鷹研究所設立

1955年 4月 富士重工業(株)三鷹製作所となる

1958年 2月 スバル360用空冷エンジン生産開始

1975年 8月 レオーネ用エンジン(SEEC-T)生産開始

1982年 2月 製造部門の群馬地区移転がスタート

1989年 2月 東京事業所に名称変更

1996年10月 スバル開発本部ISO9001認証取得

1999年 3月 事業所内でのエンジン・トランスミッションの生産を終了(研究開発に集中)

2004年 1月 東京事業所サイトとしてISO14001認証を取得

2010年 1月 富士重工業としてISO14001統合認証を取得

▶ お問い合わせ先

東京事業所 総務部

TEL 0422-33-7010 FAX 0422-33-7777